

# 国語科学習指導案

## 1 単元名

「話し合いはこう進めるべし！」話し合いのお手本動画を提案しよう  
～よりよい話し合いについて考える～

## 2 単元の目標

(1) 意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。

〔知識及び技能〕(2)ア

(2) 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)ア

(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

「学びに向かう力、人間性等」

## 3 本単元における言語活動

新1年生に向けて、話し合いのポイントを説明するお手本動画について提案する。

(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕A(2)ア)

## 4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)	①新1年生に説明するために、よりよい話し合いに必要なことについて、進んで考えようとしている。

## 5 単元について

### (1)本単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元では、4月に新しく入学する1年生に向けた、話し合い活動のポイントを説明するお手本動画の制作について生徒会に提案するという言語活動を行う。これは、中学校学習指導要領国語編（平成29年告示）の第1学年、2〔思考力、判断力、表現力等〕A話すこと・聞くことの言語活動例ア「紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする活動。」を踏まえている。

本校では、生徒全員がいずれかの委員会に所属しており、1か月に1度行われる専門委員会の前に、各学級で「学級専門委員会」が行われる。各委員会の課題や改善点について学級の委員会ごとに話し合

い、委員会活動の充実を図ることが目的となっている。委員会ごとに司会、書記などの役割を決め、話し合った結果を学級全体で共有し、さらなる質問や改善策を話し合う。1年生は学級専門委員会も3度目を迎え、少しずつ話合いに慣れてきた頃である。しかし、委員会ごとに反省の分量や質に差が見られたり、学級専門委員会自体が形骸化していたりというような課題も見られる。

そこで、この課題に着目し、自分たちの話合い活動を振り返るとともに、新1年生に向けてよりよい話合いを示すための「学級専門委員会お手本動画」の制作を想定した活動を行う。「よりよい学級専門委員会にするために」をテーマとし、新1年生に伝えるべきポイントについて少人数のグループで検討することを通して、深まりのある話合い活動を目指す。話合いをテーマにすることで、実際の話合いのときに注意する部分について生徒たちが考えることにもつながり、今後の話す聞く活動にもプラスに働くと考える。

## (2)本単元で身につけさせたい力

本単元では、新1年生に向けて、話合い活動のポイントを説明するお手本動画の制作について生徒会に提案するという言語活動を通して、学習指導要領の「思考力、判断力、表現力等」A(1)ア「目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること」ができる力の育成を目指す。学習指導要領解説には、「目的や場面に応じるとは、何のために、誰を対象に、どのような状況で話したり聞いたり話し合ったりするのかを具体的に考え、設定した話題や検討した内容が、それらに合っているかどうかを判断すること」とある。今回は、生徒たちにとって初めての後輩となる新1年生を対象に、学級専門委員会におけるよりよい話合いのポイントを説明するために、どの情報がふさわしいかという検討を行う。また、「話題を決めるとは、何について話したり聞いたり話し合ったりするのかという事柄や対象を決めること」とある。よりよい話合い活動におけるポイントについて、自分たちの失敗や困っていることを共有する中でふさわしい話題を選んでいくことを期待する。

「集めた材料を整理するとは、集めた材料を観点に沿って比較、分類、関係付けなどをすること」と明記されている。意見を共有し、集めた話合いのポイントを、「話し手」や「聞き手」視点のもの、「司会者」や「発言者」視点のものというようにグループ分けをしたり、想定される場面ごとに分類したりすることを通して、内容が目的に合っているかを検討することができる。

これらの力を身に付けることで、日常生活において、目的と相手を意識した話合いを行うことができる。学校生活では、学級目標決めや行事のスローガン決め、学級の問題を解決するための学級会などが想定される。社会に出てからも、会社の会議や地域の寄り合い、家族での話合い等、意見を伝え合う場面は数多くある。そのような時に、目的を意識すること、収集した情報を整理すること、話合いの内容を検討することは必ず求められる。「話合いのポイントを説明する」ための話合い活動を通して、これらの力の育成を目指したい。また、「話合いのポイント」を検討する場面で、学習指導要領「思考力、判断力、表現力等」A(1)ウ「相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること」や、オ「話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること」についても関連付けながら指導を行うことで、今回の単元の目標となっているアの指導事項に重点を置きつつ、中学1年生におけるA「話すこと・聞くこと」の能力の育成を目指して、幅広く指導にあたりたいと考える。

### (3)1)の基盤となる言語環境や継続的な取組

国語の授業においては、各単元において、課題に対する少人数でのグループワークを積極的に取り入れている。ペアやグループで意見を交わす活動を通して、自分の考えがうまく形成できない生徒は班員の発言からヒントを得ることができ、すでに考えをもっている生徒も多様な意見に触れることで自分の考えをより深く見つめ直すことをねらいとしている。改めて話合いの仕方について考えることで、通常の授業の話合い活動も充実したものとしていきたい。

小学校においては、学級目標を決定したり、レクの内容を検討したりといった学級内での話合いの他に、委員会内で活動内容を検討するなど、学級や学年を越えたメンバーとの話合い活動も経験をしてきている。

また、本校では、1か月に1度の専門委員会の前に、「学級専門委員会」が行われる。学級委員が全体の司会を務め、委員会ごとに今月の活動の反省点や改善点について話し合う。委員会ごとに出た意見を学級全体で共有し、さらなる反省や改善点、要望を話し合う。生徒は、第1回の学級専門委員会では、話し合いの際の役割が曖昧であったり、出された意見からの広がりが見られなかったり、難しさを感じていた。学級専門委員会の際にサポーターとしてついてくれる生徒会総務の2、3年生からアドバイスをもらい、回数を重ねるごとに話し合いの盛り上がりが増している。しかし、その一方で、同じ人ばかり発言をしている、毎月同じような意見しか出されない、委員会によって、反省の分量に大きな差があると感じている生徒もいる。形骸化しつつある学級専門委員会が、「委員会活動を活発にする」という本来の目的に合うものとなるようなきっかけとしたい。

## 6 指導と評価の計画（5時間）

時	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	○本単元の見通しをもつ。 ○事前アンケートをもとに、話合い活動の悩みについて共有する。	[主体的に学習に取り組む 態度]	ワークシート 観察
2	○よりよい話合いをするために必要なポイントを項目ごとに分類する。	[知識・技能] [思考・判断・表現]	ワークシート 観察
3	○班ごとに動画に盛り込む話合いポイントを考え、精査する。	[思考・判断・表現]	ワークシート 観察
4	○動画の構成を考える。	[思考・判断・表現]	ワークシート スライド
5	○各班の構成を共有する。 ○単元の振り返りをする。	[主体的に学習に取り組む 態度]	ワークシート

7 指導計画（全5時間）

時	主たる学習活動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
0	<p>○話し合いについて事前アンケートを実施する。</p>	<p>・ Googleform で実施し、後々共有できるようにする。</p>	
	<p>アンケート内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校での話し合い活動で行ったこと。</li> <li>・ 中学校での話し合い活動で行ったこと。</li> <li>・ 学級専門委員会のグループでの話し合いで困ったこと。</li> <li>・ 話し合い活動において、気を付けていること。</li> <li>・ 理想的な話し合いとはどのようなものだと考えるか。</li> </ul>		
1	<p>○本単元の見通しをもつ。</p> <p>○事前アンケートを共有し、話し合い活動で困ったことについて話合う。</p> <p>○学級専門委員会での話し合いを振り返り、改善点を話合う。</p>	<p>・ 対象（新1年生）と目的（学級専門委員会の話し合いのお手本動画を制作する）を確認する。</p> <p>Cの生徒に対しては、聞き手・話し手・司会などの視点やシチュエーションを提示する。</p> <p>・ 学級専門委員会時に生徒会総務からもらったアドバイスも振り返り、4月からの活動を振り返らせる。</p>	<p>〔主体的に学習に取り組む態度〕</p> <p><u>観察・ワークシート</u></p> <p>・ ここでは、自分自身の活動を思い出しながら、よりよい話し合いにするための意見出そうとしているかを確認する。</p>
2	<p>○新1年生に向けて話し合いのお手本動画を制作することを確認する。</p> <p>○前時で話合った内容を共有し、話し合いでぶつかる壁ごとに分類をする。</p> <p>想定される項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合いが脱線したとき</li> <li>・ 意見が出ないとき</li> <li>・ 周囲の反応がないとき</li> <li>・ 特定の人だけが話しているとき</li> <li>・ 話し合いが盛り上がらないとき</li> <li>・ 話すことが見つからないとき</li> </ul>	<p>・ アンケートをもとに、話し合いの中で困るシチュエーションをいくつか提示する。</p> <p>・ 想定される壁を解決するために必要なスキルを、司会者、話し手、聞き手の視点で考えることを伝える。</p> <p>・ 「ふきだしくん」を用いて、話し合いながら共同編集をできるように設定する。</p>	<p>〔知識・技能〕</p> <p><u>ワークシート・観察</u></p> <p>・ ここでは、自分の意見と祖霊を支える根拠の理解について確認する。</p> <p>〔思考・判断・表現〕</p> <p>・ ここでは、話し合いの目的を理解し、理由をもって分類をしようとしているか確認する。</p>

3 (本時)	<p>○班ごとに担当する項目を決める。</p> <p>○動画に盛り込む内容について班で検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当する話合いの壁を解決するために必要なスキルを考えるために、アンケート等も参考にさせる。</li> <li>・壁を解決するために必要なスキルを、司会者、話し手、聞き手の視点で考えることを伝える。</li> </ul>	<p>〔思考・判断・表現〕 ワークシート・観察</p> <p>・ここでは、話合いの目的と対象を意識し、それぞれに必要なスキルについて検討しているか確認する。</p>
4	<p>○動画の構成を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Google スライドと動画を組み合わせた参考作品を提示する。</li> </ul>	<p>〔思考・判断・表現〕 ワークシート スライド</p> <p>・ここでは、話合いの目的を理解し、相手に伝わるような説明の仕方を検討しているか確認する。</p>
5	<p>○各班の構成を共有する。</p> <p>○単元の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギガタブを使って各班共有を行う。</li> </ul>	<p>〔主体的に学習に取り組む態度〕 ワークシート(振り返り)</p> <p>・ここでは、他の班の作品を見て、自分たちの検討内容を見直しているか確認する。</p>

## 8 本時の計画（3/5 時間目）

### (1)本時の目標

目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕 A(1)ア

(2)本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入 (5分)	<p>○本時の学習課題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>話し合いでぶつかる壁を解決するスキルについて検討しよう。</p> </div> <p>○本時の<u>ゴール</u>を確認する。 話し合いに必要なスキルについて、多様な立場から考え、検討することができる。</p>		
展開① (10分)	<p>○前時で話合った「話し合いでぶつかる壁」を各班で役割分担する。</p> <p>○担当する「壁」を解決するために必要な話し合いのスキルについて班内で検討する。</p> <p>〈検討1〉 アンケートや前時の意見を整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1班4～5人で構成する。(全6班)</li> <li>・班構成は話し合いが効果的に進むよう、教師が提示する。</li> <li>・アンケートや前時の活動を踏まえさせる。</li> <li>・話し合いが効果的に進むよう、司会を立てさせる。</li> <li>・アンケート結果をギガタブ上で見られるように共有する。</li> </ul>	<p>〔思考・判断・表現〕</p> <p>ワークシート</p> <p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここでは、話し合いの目的と対象を意識し、それぞれに必要なスキルについて検討しているか確認する。</li> </ul>
展開② (15分)	<p>〈検討2〉 「壁」を解決するために必要なスキルについて、役割ごとに分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会者</li> <li>・話し手</li> <li>・聞き手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つのスキルを解決するために、複数の役割が関わる場合もあることを伝える。</li> </ul>	
展開③ (10分)	<p>〈検討3〉 対象と目的を意識し、適当なものを精査する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討内容が学級活動の向上にならないように注意する。</li> <li>・班内での話し合いにも、検討している話し合いのスキルを活用できるように助言をする。</li> </ul>	

まとめ (10分)	<p>○本時の振り返りを行う。</p> <p>○次時の活動の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動の中で意識したこと・できたことや貢献度を記入する。</li> <li>・次回は動画の構成を考えることを伝える。</li> <li>・イメージしやすいように、参考となる作品 (Google スライド) を提示する。</li> </ul>	〔思考・判断・表現〕 ワークシート
--------------	--	---	----------------------

### (3)本時の評価規準

目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができている。 [思考力、判断力、表現力等] A(1)ア

## 9 単元の観点別学習状況の評価の総括

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒の状況 Bと判断される	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動の中で、自身の経験を根拠として意見を出している。</li> </ul> (観察・ワークシート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの目的を理解し、自分の経験を基に意見を出し、出た意見について検討をしている。</li> </ul> (Google スライド <sup>*</sup> ・観察)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動に進んで参加し、自分の考えを伝えようとしている。</li> </ul> (振り返り・観察)
Aと判断される生徒の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動の中で、より適切な意見について、意見と根拠の関係を理解し、客観的な事実を基に意見を出している。</li> </ul> (観察・ワークシート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの目的を意識し、班で出た意見を整理しながら、実際の会話例や場面を想定して考えを深めている。</li> <li>・他の班の意見を聞き、自分たちの班の話し合いの内容を見直している。</li> </ul> (Google スライド <sup>*</sup> ・観察)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動に進んで参加し、相手の発言を促したり支持したりして、互いに考えを伝えようとしている。</li> </ul> (振り返り・観察)